



2026年5月27日

各 位

会 社 名 わらべや日洋ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 辻 英男
(コード番号 2918 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 浅野 直
(TEL. 03-5363-7010)

札幌工場で発生した火災に関するお知らせ (第3報)

2026年2月16日に当社連結子会社であるわらべや日洋食品株式会社が運営している札幌工場で発生した火災につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

近隣の方々をはじめ、多くのお客様、お取引先様、関係者の皆様に多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

(下線部が第2報からの更新内容となります。)

なお、当該工場を含む北海道における製造・販売事業につきましては、2026年3月1日を効力発生日とする吸収分割により、当社連結子会社であるわらべや北海道株式会社(以下、わらべや北海道)に承継しております。

記

1. 発生日時

出火：2月16日(月) 16時52分頃

鎮火：2月16日(月) 22時52分頃

2. 発生場所

北海道札幌市白石区平和通15丁目北8-35

わらべや北海道 札幌工場

3. 原因と再発防止策

当社は今回の事故を深く反省するとともに、重大な事案として厳粛に受け止め、外部専門家による原因究明の調査およびそれに基づく再発防止策の策定を実施いたしました。あわせて、緊急対応として全工場でガス機器および配管の点検を既に実施しております。

原因につきましては、ガス設備の操作誤りおよび設備不良が複合的に起因してガスが漏洩し、これが製造機械の種火に引火したものとみております。

再発防止策につきましては、本社主管部門の主導のもと、全工場を対象にガス専門業者による設備の詳細点検を実施し、現在使用していないガス配管の撤去、使用している配管の支持・固定の強化ならびにガス漏洩検知器および緊急遮断弁の追加設置を行ってまいります。加えて、緊急時対応およびガス設備機器の使用マニュアルの整備を進めるとともに、従業員に対する教育訓練の強化により、同様の事故の再発防止に努めてまいります。

4. 被害状況

人的被害：軽傷1名

物的被害：建物および製造設備の一部が焼損し、発生した煙やすすが工場内の広範囲に及んでおります。

5. 操業状況

上記の被害状況を踏まえ、当該工場は現在操業を停止しております。

現在、復旧に向けた検討を進めておりますが、復旧に要するコストおよび期間の精査に時間を要しており、現時点では操業再開の目途は立っておりません。

製品の供給につきましては、わらべや北海道の釧路工場へ製造を移管するとともに、同業他社のご協力もいただいております。また、暫定的に調理パン専用の生産拠点（札幌西工場）を設け、一部製品の製造を5月25日より開始しております。

6. 業績への影響

2027年2月期において札幌西工場の稼働準備費等の計上が見込まれますが、本件に伴う連結業績予想の変更はありません。

なお、当社では災害に備え火災保険を付保しておりますが、現在保険会社が被害状況を調査しているため、受取額は未確定です。

今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上